

本科講座 19 試算表

ねらい 試算表の内容を理解する。

試算表の学習も基礎講座で行いました。基礎講座では、合計残高試算表の説明をしましたが、試算表には、合計残高試算表の他に、残高試算表と合計試算表の3種類があります。(下図参照)ここでは、もう一度、試算表について確認しましょう。

試算表を作成する目的は、転記が正しく行われているのかチェックするという目的があります。各勘定科目の合計、または残高を集計した一覧表を作成し総勘定元帳の記載が正しいかどうかを確認します。試算表は決算の時には必ず作成しますが、毎週末、毎月末など企業の必要に応じて作成します。試算表は総勘定元帳を基にして作成するのですが、作成は難しいものではありません。勘定科目ごとの合計や残高を記入すればよいのです。〔右図参照〕

残高試算表

借方	勘定科目	貸方
10,000	現金	
	資本金	7,000
	売上	7,000
4,000	仕入	
14,000		14,000

残高試算表では、借方と貸方の合計が一致します。

残高試算表とは、各勘定科目の残高を表に記入したものをいいます。

合計試算表

借方	勘定科目	貸方
20,000	現金	10,000
	資本金	7,000
	売上	7,000
4,000	仕入	
24,000		24,000

合計試算表では、借方と貸方の合計が一致します。

合計試算表とは、各勘定科目の借方と貸方の合計を表に記入したものをいいます。

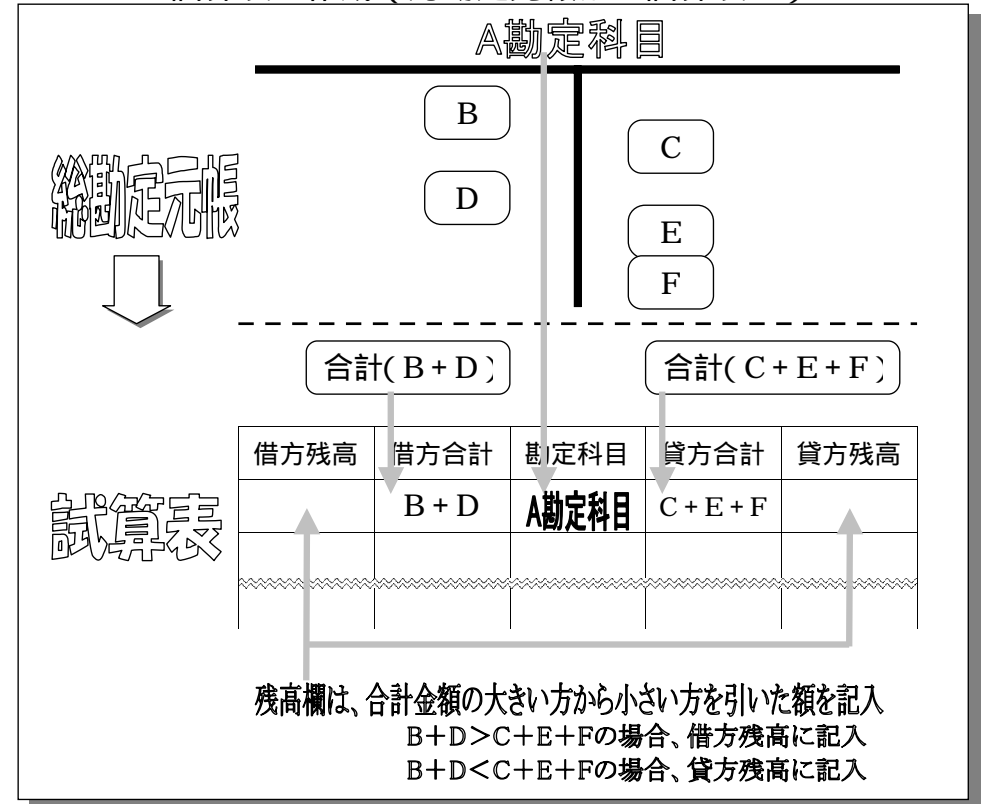
合計残高試算表

借方残高	借方合計	勘定科目	貸方合計	貸方残高
10,000	20,000	現金	10,000	
		資本金	7,000	7,000
		売上	7,000	7,000
4,000	4,000	仕入		
14,000	24,000		24,000	14,000

合計残高試算表では、借方残高と貸方残高、借方合計と貸方合計が一致します。

合計残高試算表とは、残高試算表と合計試算表を合わせたものをいいます。

試算表の作成 (総勘定元帳から試算表へ)



例1 総勘定元帳から合計残高試算表の作成

総勘定元帳		現金	
12/1 売上	30,000	12/9 備品	5,000
売上		備品	
12/1 現金	30,000	12/9 現金	5,000

合計残高試算表

借方残高	借方合計	勘定科目	貸方合計	貸方残高
25,000	30,000	現金	5,000	
		売上	30,000	30,000
5,000	5,000	備品		